

# JA古川自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに

JA古川は「総合事業」を展開します。

「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」、「地域の活性化」への貢献、地域営農を核とした多様な農業の実践と担い手の育成に取り組み「持続可能な地域農業の実現」や「地域づくりに貢献するJA」を目指してまいります。

**協同組合とは、組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。**

- ◆ JAは農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開していきます。
- ◆ 農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農畜産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を通じて総合的に結び付け、地域づくりに取り組んでいます。
- ◆ 農業者以外の方でJA各事業をご利用いただく方は、地域の発展や地域づくり、日本の食の応援団として准組合員に加入いただいております。
- ◆ 信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や農業関連施設への多額の投資が可能になります。
- ◆ いわば、組合員と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業と暮らし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

主な取り組みは次のとおりです。

## 1. JA古川米（環境保全米）の生産拡大

「大崎耕土」の巧みな水管理による水田農業システムが世界農業遺産に認定されたことにより、行政と連携し付加価値化を推進すると共に、ササニシキ、ささ結等の作付誘導を図り、環境保全米の生産拡大に積極的に取り組んでいます。

## 2. 園芸品目の生産基盤拡大（1品目1億円）

地域営農ビジョンに基づく生産体制づくりと機械化体系等の拡充に努めると共に、旧富永支店と旧高倉支店を野菜調整所として活用し、農業生産の拡大と農業者の所得増大に取り組んでいます。特に、重点品目のなす、ねぎ、トマト、春菊を中心に1品目1億円の園芸振興を目指しています。



## 3. 畜産の産地銘柄の強化

産地銘柄確立のため、補助事業を活用し良質素牛を鹿児島県・宮崎県から積極的に導入して飼養頭数を拡大するとともに、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するため、古川地域畜産クラスター協議会を設立して取り組んでいます。

また、輸出に向けた肉牛出荷にも取り組んでいます。



#### 4. マーケットインに基づく生産・販売と地域ブランドの確立

農産物の生産履歴記帳の徹底とGAPによる「食の安全・安心確保」を軸に、多様な販売先へ情報発信してマーケットインに基づく生産に取り組み、地域ブランド化の確立に努めています。

特に「ささ結」は実需と協議し、管内及び県内外での計画的な販売に取り組んでいます。

#### 5. 地産地消商品の開発

マーケティング課を新設し、農畜産物の有利販売のための独自販路の開拓や新たな地産地消商品の開発を行っています。



#### 6. わいわい茶論（JA古川型福祉活動）の実践

安心して暮らせる地域づくりと豊かなくらしの実現を目指す「JAくらしの活動」として、支店や集落等を会場に健康寿命の伸長を目指して「わいわい茶論」を実践しています。



#### 7. 自己改革を支える経営基盤の確立

農業・農協を取り巻く情勢が厳しさを増す中、刻々と変わる環境変化に対応できる健全経営の確立と財務基盤の強化を目指すため、経営基盤強化計画を策定し取り組んでいます。